

平成29年6月17日(土)

県政 F ネット

連絡先

三重県健康福祉部 薬務感染症対策課
感染症対策班 担当：松本・小掠
電話：059-224-2352

感染症の予防のための 情報提供について【2事例】

病 名	腸管出血性大腸菌感染症																								
【概要】 本日、松阪市（事例１）、亀山市（事例２）の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症の発生の連絡がありました。内容は下記のとおりです。 【患者発生の経過】 （１）事例１（１１歳、女性、小学生、松阪市在住） 6月１２日 腹痛の症状がみられた。 6月１３日 腹痛、下痢便（４～５回/日）、発熱（３７℃）、倦怠感の症状がみられた。 6月１４日 症状が継続したため、松阪市内の診療所を受診。その後、下痢便頻回になり、血便がみられた。 6月１５日 症状が継続したため、同市内の別の診療所を再度受診し、同市内の病院へ紹介入院となった。 6月１７日 6月１５日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７）感染症と診断された。 6月１７日現在、患者は下痢、腹痛、倦怠感、発熱の症状があり入院中ですが、快方に向かっています。 （２）事例２（３０歳、女性、無職、亀山市在住） 6月 7日 腹痛、水様性下痢便（２～３回／日）、発熱（３７℃）の症状がみられた。 6月１０日 腹痛、軟便（１～２回/日）、発熱（３７℃）の症状が続いたので、亀山市内の診療所を受診。 6月１３日 症状が継続したため、同市内の別の診療所を再度受診。 6月１７日 6月１３日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（Ｏ２６）感染症と診断された。 6月１７日現在、患者に症状はありません。																									
【防疫措置】 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施（松阪、鈴鹿保健所）																									
【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】 （四日市市保健所分を含む） <table><tr><th></th><th>平成２５年</th><th>平成２６年</th><th>平成２７年</th><th>平成２８年</th><th>平成２９年</th></tr><tr><td>患 者</td><td>４４</td><td>３９</td><td>２７</td><td>２９</td><td>４</td></tr><tr><td>保菌者</td><td>１８</td><td>１９</td><td>１０</td><td>１５</td><td>６</td></tr><tr><td>計（感染者）</td><td>６２</td><td>５８</td><td>３７</td><td>４４</td><td>１０</td></tr></table> ※平成２９年１月１日～平成２９年６月１７日現在まで本件含む 平成２９年内 患 者：Ｏ１５７（２人）：Ｏ２６（１人）：型不明（１人） 保菌者：Ｏ１５７（５人）：Ｏ２６（１人）			平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	平成２９年	患 者	４４	３９	２７	２９	４	保菌者	１８	１９	１０	１５	６	計（感染者）	６２	５８	３７	４４	１０
	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	平成２９年																				
患 者	４４	３９	２７	２９	４																				
保菌者	１８	１９	１０	１５	６																				
計（感染者）	６２	５８	３７	４４	１０																				
【自分でできる対策】 １ 予防の３原則 ① 加熱（菌を殺す） この菌は熱に弱く、７５℃、１分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。 ② 迅速・冷却（菌を増やさない） 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（１０℃以下）や冷凍庫（－１５℃以下）に入れましょう。 ③ 清潔（菌をつけない） 手指や調理器具は十分に洗いましょう。 ２ 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。 ３ 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。																									